

ブラザー工業株式会社

<https://global.brother/ja/eco>

<https://www.brotherearth.com/ja/activity/>

(ブラザー公式ウェブサイト)

(ブラザー環境スペシャルサイト)



《将来に向けた取組方針》

ブラザーグループは「環境ビジョン2050」の実現に向けて、事業活動が生態系へ与える環境負荷を最小化し、環境負荷を上回る修復・保全活動を推進していきます。

「生物多様性保全」2030年度中期目標：

- ・事業活動が生態系に与える環境負荷の回避、低減
- ・グループ全体の生産・販売拠点における自主的な生態系の修復・保全活動

《具体的取組み事例》

地域特性を考慮した環境保全活動を、ブラザーグループ各社がそれぞれ活動内容を考え、継続的に実施しています。

（事例1）岐阜県郡上市における植林活動

- ・2008年より年2回、延べ24回植林活動を実施。従業員とその家族が2000人以上参加し、これまでに約6,500本を植樹。名古屋大学と共同で樹木の生育、土壌、生物調査を行う事で、より効果的に生物多様性に貢献できる「育つ植樹、根付く植樹」となっており、日本の固有種であるギフチョウをはじめ希少な動植物も多くみられる多様性に富んだ森になってきている。



（事例2）タイのマングローブ再生支援プロジェクト

- ・2009年よりマングローブの植樹活動を開始。従業員、取引先、学生、SNSを通じて募ったお客様などが参加し、これまで植樹した苗木は約1,500本。植樹した苗木は順調に成長し、すでに小さな生態系を有するまでになっている。

※学んだこと・成果等

- ・生物多様性保全活動が「国連生物多様性の10年日本委員会」の第12弾の認定連携事業として認められました。
- ・「愛知環境賞2019」において、ブラザーグループのグローバルな活動に対して金賞を受賞しました。
- ・植林では、地域との繋がりを高く評価いただき、2017年に郡上市から、2019年には岐阜県から感謝状を頂きました。

《今後の課題等》

- ・生態系に対する事業活動の環境負荷と保全活動による貢献の定量的な把握
- ・グループ全体での生物多様性保全活動の拡大
- ・グローバルな環境教育、人材育成の充実

《社会に向けたメッセージ》

「Brother Earth」は、ブラザーグループが掲げる環境活動のスローガンです。私たちはこのスローガンのもと、すべての事業領域における環境負荷低減と、世界各地での環境保全活動に取り組んでいます。



よりよい地球環境を、あなたとともに。